

2022年10月31日

各 位

ダイダン株式会社

DXにより“3つの脱”を実現し、新しい働き方を推進するオフィス ダイダン新潟支店を着工

ダイダン株式会社（本店：大阪市西区、代表取締役社長：藤澤一郎）は、新潟県新潟市にて、新潟支店の老朽化に伴うレジリエンス対応とともに、「DXと新しい働き方を推進するオフィス」をテーマとする建替えプロジェクトにおいて、10月29日に安全祈願祭を執り行い、本格着工いたしました。



ダイダン新潟支店完成予想図

■ 工事概要

- ・ 所在地 新潟県新潟市中央区
- ・ 設計・施工 株式会社NTTファシリティーズ、ダイダン株式会社
- ・ 施工協力 清水建設株式会社
- ・ 工事期間 2022年10月29日 ～ 2023年12月31日
- ・ 建物規模 延床面積 1,182m²
- ・ 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上3階建

■ 建設コンセプト・計画概要

『DX-OMOYA』

建設するオフィスにおいて、またその施工プロセスにおいて、DXにより“3つの脱”（脱カーボン、脱ストレス、脱ルーチン）を実現し、新しい働き方を推進する現代版「OMOYA」を目指します。

「OMOYA」には、作業場である現場事務所やテレワーク（離れ）に対して、拠点機能を持つ母屋である新潟支店と、居心地が良くていざという時に頼りになる家族が住む母屋の2つの意味を込めています。

“3つの脱”とは

【脱カーボン】 AIの活用などによる建物エネルギーの最適化

【脱ストレス】 ABW^{*1}を推進する様々なニーズに対応可能なオフィス

【脱ルーチン】 メタサイト^{*2}による場所を問わない施工支援

※1…ABW (Activity Based Working)

業務内容や気分に合わせて、社員が自律的に働く時間と場所を自由に選択するワークスタイル

※2…メタサイト

コンピュータやネットワーク上に構築された3次元の仮想空間（メタバース）での作業環境。

メタバースと作業場（サイト）を組み合わせた造語

ダイダンは、これまで自社建設プロジェクトを通じ、脱炭素社会の実現に向けたZEBやウェルネスオフィスへの取り組みを続けてきました。今回の新潟支店建替えのプロジェクトでは、これまで培った知見を活かし、以下の取り組みを進めてまいります。

- ・ **【脱カーボン】** より身近なZEBを目標に、鉄筋コンクリート造のシンプルなフレームと汎用機器、制御技術で、Nearly ZEBを実現する
- ・ **【脱ストレス】** 意欲をもって働ける職場環境づくりにより、今年5月に竣工した北陸支店に続きCASBEEウェルネスオフィスの認証取得を目指す
- ・ **【脱ルーチン】** ダイダンは2020年に「DX銘柄」に選出され、2021年には「DX事業者」の認定を受けており、その実績をもとに更なる生産性向上の推進に向け、デジタル技術とオフサイトを活用した設備施工を実施

以上

【お問合せ先】 ダイダン株式会社 経営企画室

コーポレートコミュニケーション部 伊藤修一

〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10

Tel.: 03-5276-4568

E-mail: PR@daidan.co.jp , itoshuichi@daidan.co.jp